



平成29年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月13日

上場会社名 株式会社イグニス
コード番号 3689 URL <http://1923.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 銭 銀

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO

(氏名) 山本 彰彦

TEL 03-6408-6820

四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第1四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第1四半期	1,416	7.2	148	△63.7	136	△66.5	67	△70.7
28年9月期第1四半期	1,321	443.8	409	—	405	—	230	—

(注) 包括利益 29年9月期第1四半期 59百万円 (△74.2%) 28年9月期第1四半期 229百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第1四半期	10.64	10.07
28年9月期第1四半期	37.68	35.83

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第1四半期	5,679	4,238	73.9
28年9月期	4,332	2,497	56.1

(参考) 自己資本 29年9月期第1四半期 4,197百万円 28年9月期 2,431百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年9月期	—	—	—	—	—
29年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	
	百万円	%
通期	6,000	7.4

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 - ② ①以外の会計方針の変更： 無
 - ③ 会計上の見積りの変更： 無
 - ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年9月期1Q	6,587,100 株	28年9月期	6,235,700 株
② 期末自己株式数	29年9月期1Q	21,564 株	28年9月期	21,564 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年9月期1Q	6,336,362 株	28年9月期1Q	6,112,177 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3.「当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、政府及び日銀による財政・金融政策の継続・拡大を背景として、引き続き企業収益や雇用情勢の改善がみられる等、景気は緩やかな回復基調で推移しております。一方で、新興国・資源国等の景況悪化、英国のEU離脱問題や米国のトランプ政権発足によるグローバリズム後退懸念等、様々な面において世界規模で不確実性が高まっており、依然として先行きが不透明な状況となっております。

当社グループの主要な事業領域である国内スマートフォン向けアプリ市場は、スマートフォンの国内普及率が全体の過半数を超えて平成28年には60.2%となり(注1)、若年層を中心に依然として増加を続けていることを背景として、拡大を継続しております。国内スマートフォン向け広告市場については平成29年の市場規模が5,369億円に達する見込みであり、前年比で118%と予測されております(注2)。また、国内スマートフォン向けゲーム市場についても、平成28年度の市場規模が9,450億円に達する見込みであり、前年比で102%と予測されております(注3)。

このような経営環境の中、当社グループは当第1四半期連結累計期間より、既存ジャンルの枠組みを「無料ネイティブアプリ」「ネイティブソーシャルゲーム」から「コミュニティ」「ネイティブゲーム」「メディア(その他)」へと整理し、スマートフォン向けアプリ事業を行ってまいりました。これら3つのジャンルを既存事業の柱とし、また、新規ジャンルへの挑戦としてIoT、VRにおいて経営資源を投入しております。

なお、ジャンルごとの取組みは以下のとおりであります。

- (注) 1. 出典：「平成28年版情報通信白書」(総務省)
 2. 出典：株式会社CyberZ[東京・渋谷区]/株式会社シード・プランニング[東京・文京区]
 3. 出典：株式会社矢野経済研究所[東京・文京区]

(コミュニティ)

当第1四半期連結累計期間は婚活サービス「with」を中心として、ユーザー同士によるコミュニティ形成にフォーカスした運用型サービスに注力いたしました。「with」については国内ソーシャルネットワーキングのカテゴリにおいて上位収斂が見られ順調な立ち上がりを見せております。このような中、他社類似サービスとの差別化を図るべく、心理学を活用して最適な男女のマッチングを目指した新機能の開発に取り組んでまいりました。当該機能を実装することでユーザー数の増加を図ってまいります。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当ジャンルの売上高は135,935千円となりました。前年同四半期における当ジャンルの売上高は17,289千円であったことから、前年同四半期比686.2%増となっております。

(ネイティブゲーム)

当第1四半期連結累計期間は「ぼくとドラゴン」が安定的に推移いたしました。季節イベントや他社サービスや人気コンテンツとのコラボレーション、機能追加等を実施いたしました。今後も機能改善及び運営チームによる多彩なイベントの実施等、開発及び運営双方に注力することで、業績の安定化に努めてまいります。また、新規プロダクトの開発にも取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当ジャンルの売上高は1,168,492千円となりました。前年同四半期における当ジャンルの売上高は1,233,343千円であったことから、前年同四半期比5.3%減となっております。

(その他)

その他はビジネスパーソン向けメディア「U-NOTE」並びにどのジャンルにも属さないプロダクトにより構成されております。メディアについては、収益拡大に向けて新メディアの開発に取り組んでまいりました。また、中長期的な成長を見越し、新規ジャンルとしてIoT並びにVRへの投資を開始しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当ジャンルの売上高は112,287千円となりました。前年同四半期における当ジャンルの売上高は71,106千円であったことから、前年同四半期比57.9%増となっております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,416,715千円(前年同四半期比7.2%増)、営業利益は148,620千円(前年同四半期比63.7%減)、経常利益は136,118千円(前年同四半期比66.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は67,397千円(前年同四半期比70.7%減)となりました。

なお、当社グループはセグメント情報を記載していないため、セグメントごとの業績は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は5,679,304千円となり、前連結会計年度末に比べ1,346,782千円増加いたしました。流動資産は4,261,787千円(前連結会計年度末比1,175,368千円増)となりました。主な増加要因は、新

株予約権の行使等により現金及び預金が736,213千円増加したこと、営業貸付金が309,000千円増加したことによるものであります。また、固定資産は1,417,517千円(前連結会計年度末比171,413千円増)となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は1,440,364千円となり、前連結会計年度末に比べ394,206千円減少いたしました。流動負債は1,031,799千円(前連結会計年度末比358,200千円減)となりました。主な減少要因は、法人税等の支払いにより未払法人税等が783,488千円減少したこと、主な増加要因は、運転資金の借入により短期借入金が300,000千円増加したことによるものであります。また、固定負債は408,565千円(前連結会計年度末比36,006千円減)となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は4,238,939千円となり、前連結会計年度末に比べ1,740,988千円増加いたしました。主な増加要因は、新株予約権の行使により資本金が867,250千円、資本準備金が867,249千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年9月期の連結業績予想につきましては、平成28年11月11日に公表いたしました「平成28年9月期 決算短信」の内容に変更はございません。なお、業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第1四半期連結会計期間より、平成28年11月4日付で新たに設立したパルス株式会社について、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,170,383	2,906,596
売掛金	395,619	546,699
営業貸付金	70,000	379,000
貯蔵品	7,694	5,194
その他	442,720	424,296
流動資産合計	3,086,418	4,261,787
固定資産		
有形固定資産	112,136	115,666
無形固定資産		
のれん	106,915	100,280
ソフトウェア	379,064	385,672
無形固定資産合計	485,980	485,953
投資その他の資産	647,985	815,897
固定資産合計	1,246,103	1,417,517
資産合計	4,332,521	5,679,304
負債の部		
流動負債		
買掛金	29,214	21,275
短期借入金	—	300,000
1年内返済予定の長期借入金	183,356	183,356
未払金	230,392	286,683
未払法人税等	814,248	30,759
その他	132,788	209,725
流動負債合計	1,390,000	1,031,799
固定負債		
長期借入金	339,971	303,965
資産除去債務	104,600	104,600
固定負債合計	444,571	408,565
負債合計	1,834,571	1,440,364
純資産の部		
株主資本		
資本金	621,566	1,488,817
資本剰余金	620,461	1,453,969
利益剰余金	1,244,807	1,301,556
自己株式	△51,933	△51,933
株主資本合計	2,434,902	4,192,408
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△3,374	5,216
その他の包括利益累計額合計	△3,374	5,216
新株予約権	3,212	3,972
非支配株主持分	63,210	37,341
純資産合計	2,497,950	4,238,939
負債純資産合計	4,332,521	5,679,304

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
売上高	1,321,739	1,416,715
売上原価	181,801	244,768
売上総利益	1,139,937	1,171,947
販売費及び一般管理費	730,187	1,023,327
営業利益	409,749	148,620
営業外収益		
受取利息	924	836
為替差益	81	1,098
雑収入	23	36
営業外収益合計	1,029	1,971
営業外費用		
持分法による投資損失	4,561	3,391
貸倒引当金繰入額	—	3,999
株式交付費	—	6,070
雑損失	390	1,011
営業外費用合計	4,951	14,473
経常利益	405,827	136,118
税金等調整前四半期純利益	405,827	136,118
法人税、住民税及び事業税	219,217	27,746
法人税等調整額	△42,251	57,723
法人税等合計	176,966	85,470
四半期純利益	228,861	50,647
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,462	△16,749
親会社株主に帰属する四半期純利益	230,324	67,397

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	228,861	50,647
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	475	8,590
その他の包括利益合計	475	8,590
四半期包括利益	229,336	59,238
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	230,799	75,988
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,462	△16,749

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年11月9日から平成28年11月16日までの間に、ドイツ銀行ロンドン支店から第8回及び第9回新株予約権の行使による払込みを受けました。この結果、当第1四半期連結累計期間において資本金が867,250千円、資本準備金が867,249千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が1,488,817千円、資本準備金が1,487,710千円となっております。

(セグメント情報等)

開示情報としての重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。